

汚濁負荷収支の把握

1. 汚濁負荷収支の概要

川の水質は、 普段の生活に伴って川に排出する負荷量(汚れのもと)と 川の水の量で決まる。汚濁負荷収支は、 の負荷量がどこからどの程度、川に流れ出すかを把握するものである。以下に汚濁負荷収支のイメージを示す。

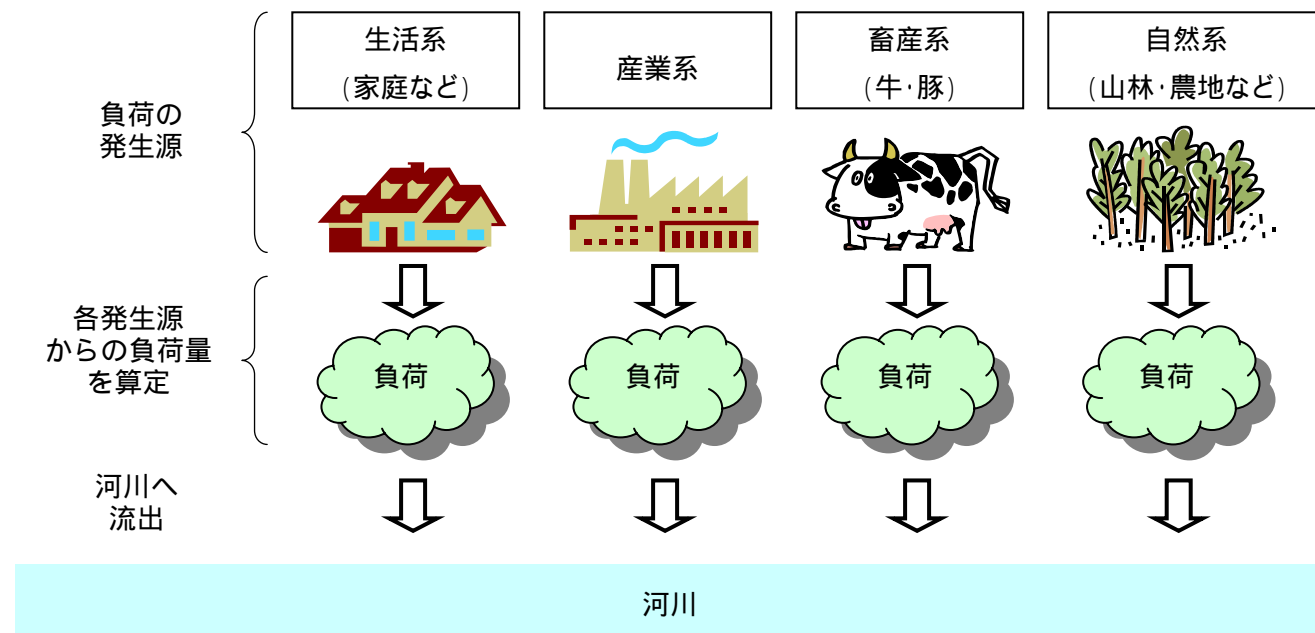


図 1-1 汚濁負荷収支のイメージ

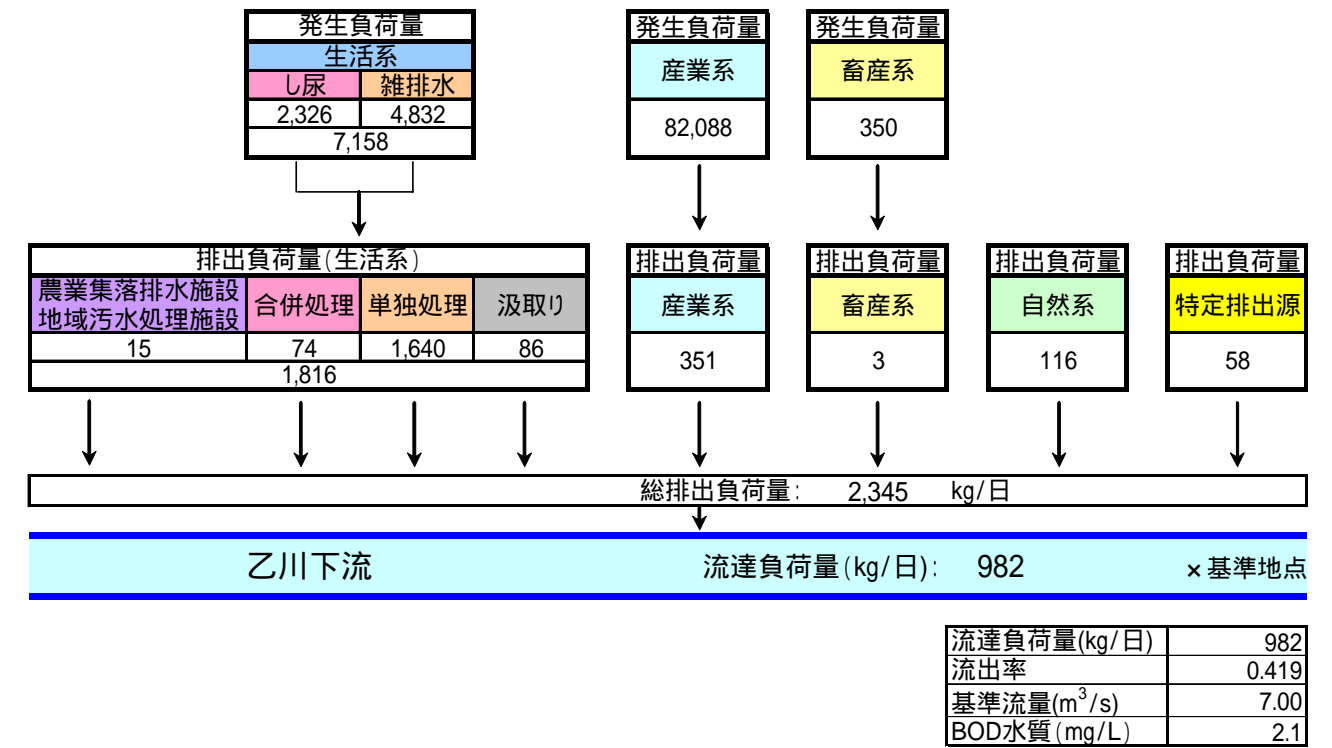
2. 汚濁負荷収支図

汚濁負荷排出源を生活系・産業系・畜産系・自然系・特定排出源に分割し算定した、汚濁負荷の収支図を以下に示す。

2.1 乙川下流ブロックの汚濁負荷収支図

現況の汚濁負荷収支図

(単位: kg/日)



注：地域污水处理施設は農業集落排水施設に含まれる。

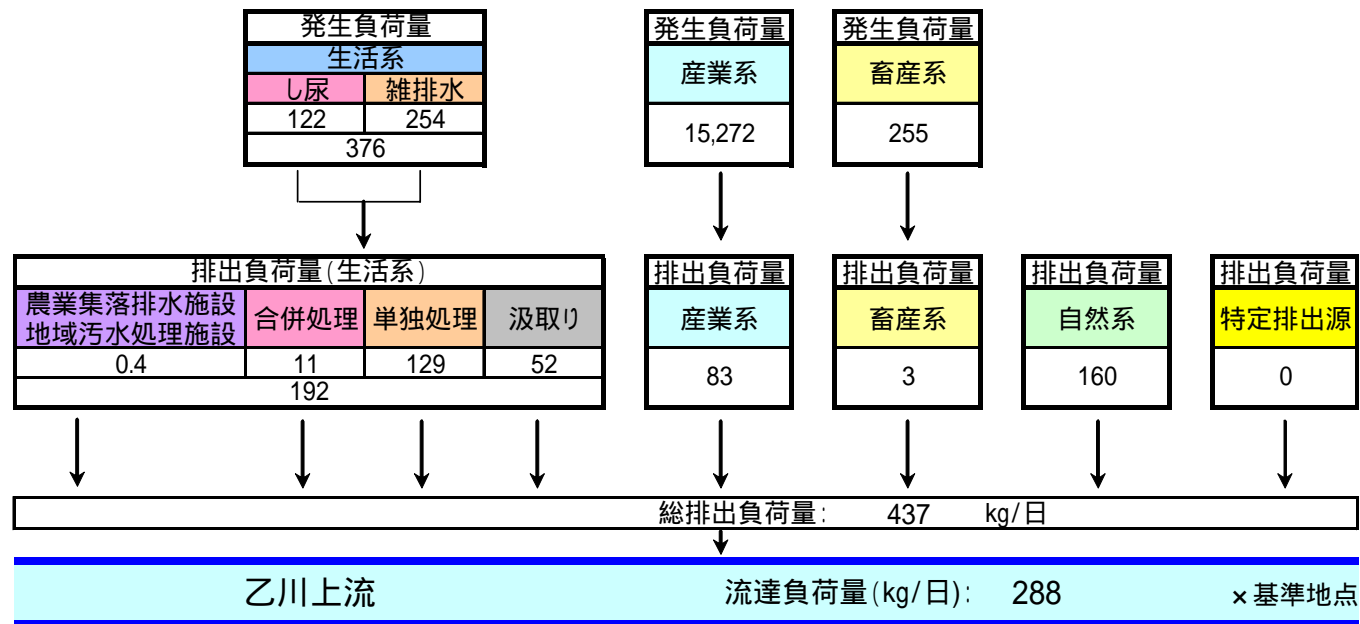
図 2-1 乙川下流ブロックの汚濁負荷収支図

- ・ 下水道の整備がある程度進んでいる(普及率約 6 割)ことと、自然系の流量が多いことから、河川水質は良好になっていると考えられる。
- ・ 市街地内の支川等、自然系の流量が少なくなる河川では水質が悪くなると考えられる。
- ・ 水質及び流量を改善するには、下水道接続率の向上や単独処理浄化槽の合併浄化槽化、自然系流量の確保に取り組むことが必要。

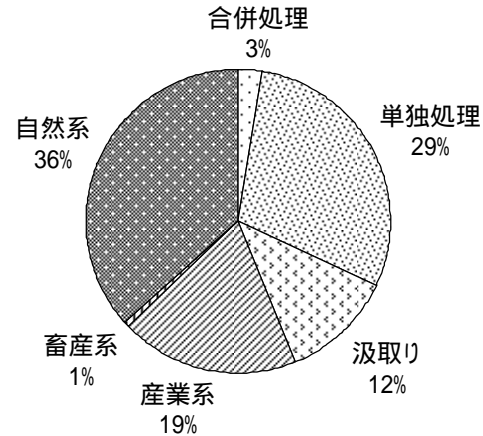
2.2 乙川上流ブロックの汚濁負荷収支図

現況の汚濁負荷収支図

(単位: kg/日)



流達負荷量(kg/日)	288
流出率	0.658
基準流量(m ³ /s)	3.70
BOD水質(mg/L)	0.9



注: 地域污水处理施設は農業集落排水施設に含まれる。

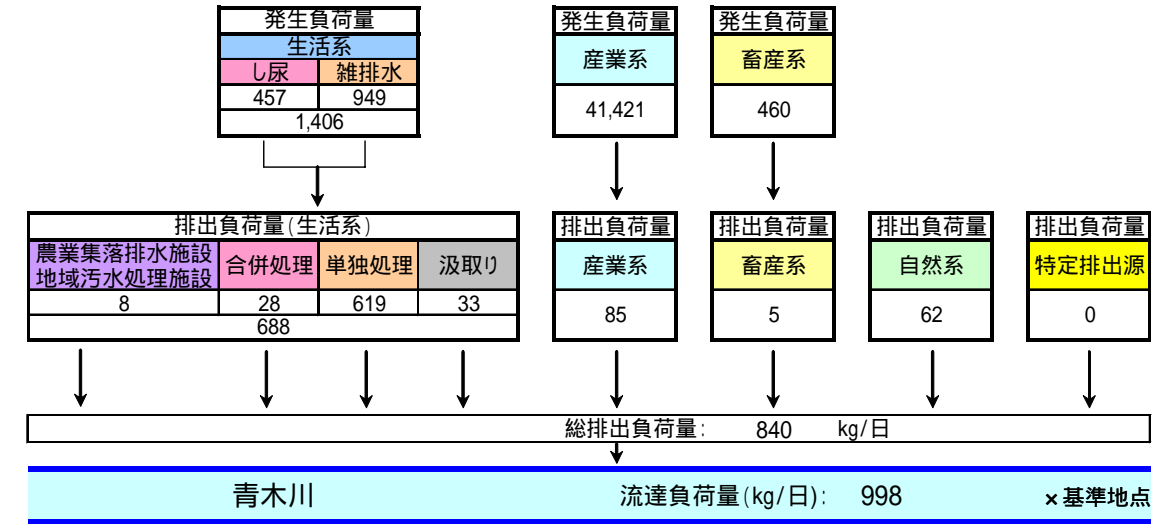
図 2-2 乙川上流ブロックの汚濁負荷収支図

- ・ 単独処理浄化槽、汲取りの家庭がブロック内人口の約 6 割であり、生活排水からの負荷の割合が高い。
- ・ 汚濁負荷の総量が少ないこと、平常時には自然系の流量が 9 割程度あるため水質への影響が抑えられていると考えられる。
- ・ 水質を改善するには、汲取りや単独処理浄化槽の合併浄化槽化が必要。
- ・ 水収支への人工系の影響が小さく、流量を改善するためには別途水源の確保が必要。

2.3 青木川・郡界川ブロックの汚濁負荷収支図

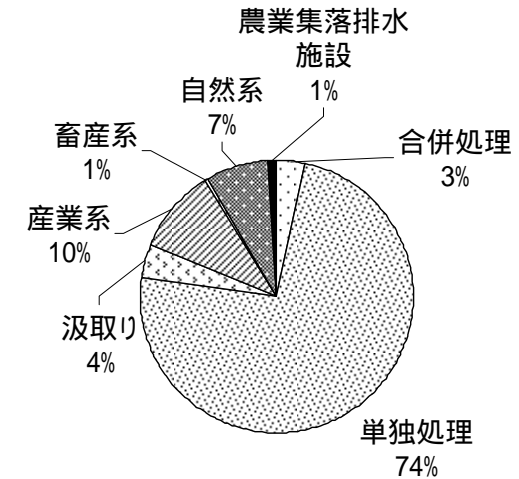
現況の汚濁負荷収支図

(単位: kg/日)



流達負荷量(kg/日)	998
流出率	1.189
於御所川	基準流量(m ³ /s) 0.11
	BOD水質(mg/L) 13.0
北斗川	基準流量(m ³ /s) 0.09
	BOD水質(mg/L) 9.7
青木川	基準流量(m ³ /s) 2.50
	BOD水質(mg/L) 3.7

流達負荷量は於御所川、北斗川、青木川の合計



注: 地域污水处理施設は農業集落排水施設に含まれる。

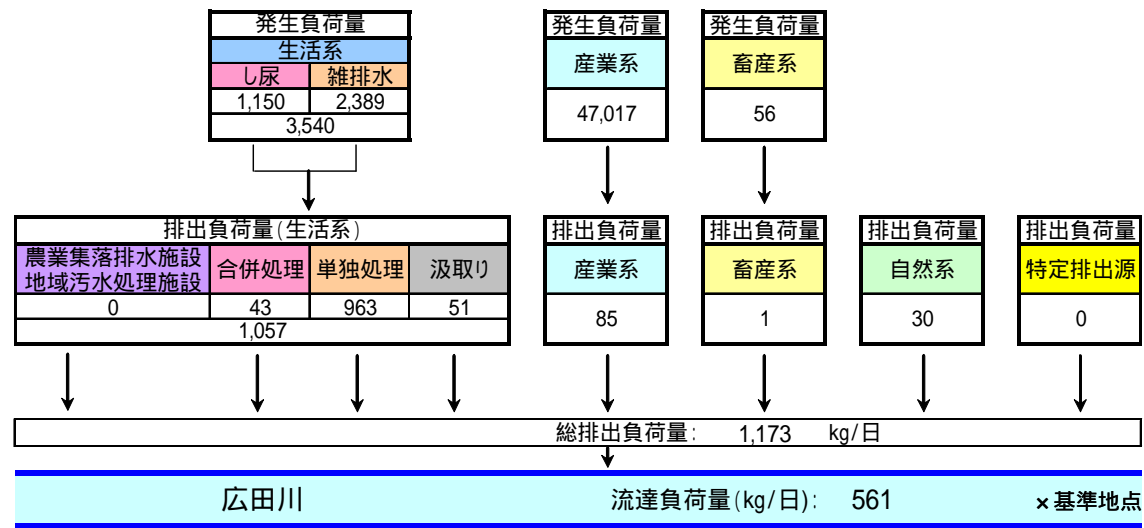
図 2-3 青木川・郡界川ブロックの汚濁負荷収支図

- ・ 単独処理浄化槽等の生活系排水が約 8 割を占めている。
- ・ 水質のデータがないため、水質への影響は不明。
- ・ 平常時には自然系の流量が 8 割程度あるため水質への影響が抑えられていると考えられる。
- ・ 市街地内の支川等、自然系の流量が少なくなる河川では水質が悪くなると考えられる。
- ・ 水質を改善するには、下水道整備の推進、汲取り・単独処理浄化槽の合併浄化槽化や集合処理施設の整備が必要。

2.4 広田川・安藤川ブロックの汚濁負荷収支図

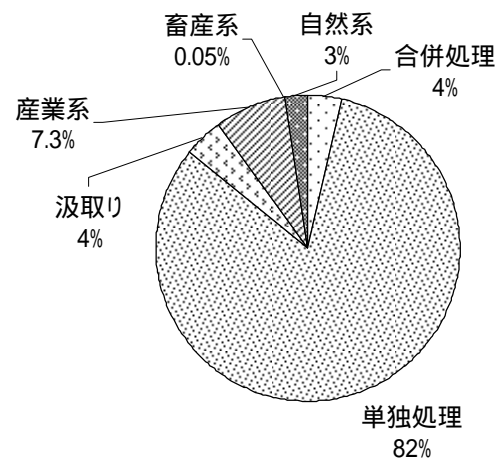
現況の汚濁負荷収支図

(単位: kg/日)



流達負荷量(kg/日)	561
流出率	0.478
安藤川	基準流量(m ³ /s) 0.27
	BOD水質(mg/L) 9.6
占部川	基準流量(m ³ /s) 0.91
	BOD水質(mg/L) 2.9
砂川	基準流量(m ³ /s) 0.28
	BOD水質(mg/L) 4.5

流達負荷量は安藤川、占部川、砂川の合計



注: 地域污水处理施設は農業集落排水施設に含まれる。

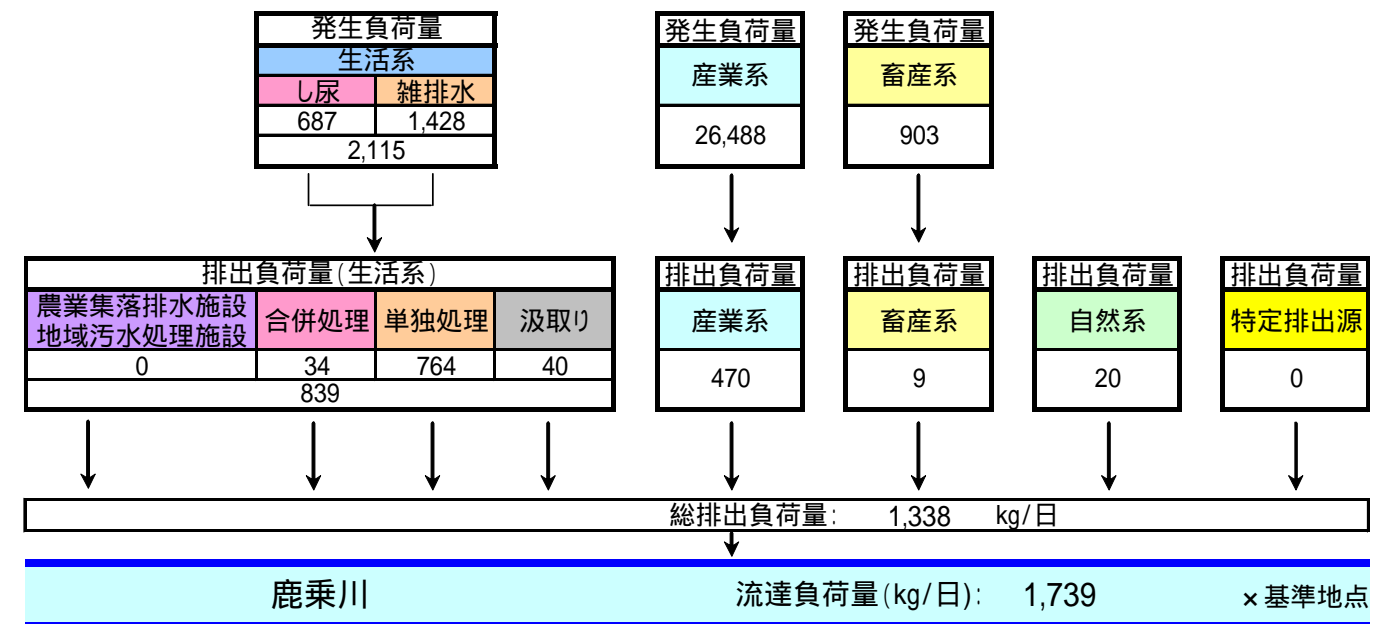
図 2-4 広田川・安藤川ブロックの汚濁負荷収支図

- ・ 汚濁負荷の9割以上が単独処理浄化槽等の生活系排水によるものである。
- ・ 乙川、矢作川から取水される流量が多いため、水質への影響が抑えられていると考えられる。
- ・ 水質を改善するには、下水道整備の推進、汲取り・単独処理浄化槽の合併浄化槽化や集合処理施設の整備・接続率向上が必要。

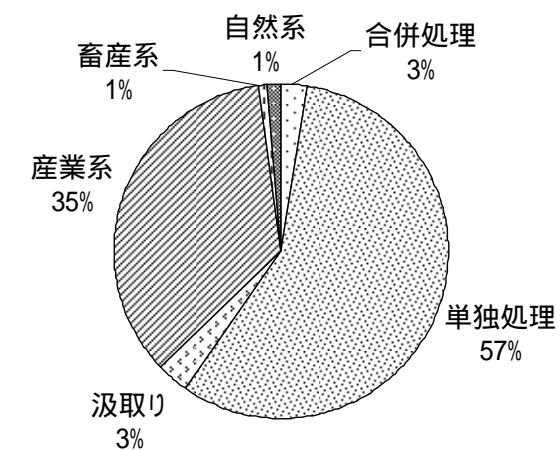
2.5 鹿乗川ブロックの汚濁負荷収支図

現況の汚濁負荷収支図

(単位: kg/日)



流達負荷量(kg/日)	1,739
流出率	1.300
基準流量(m ³ /s)	3.87
BOD水質(mg/L)	5.2



注: 地域污水处理施設は農業集落排水施設に含まれる。

図 2-5 鹿乗川ブロックの汚濁負荷収支図

- ・ 単独処理浄化槽等の生活系排水による汚濁負荷が約6割を占める。
- ・ 水質を改善するには、下水道整備の推進、汲取り・単独処理浄化槽の合併浄化槽化や集合処理施設の整備・接続率向上が必要。
- ・ 計上していない施肥由来の汚濁や上流からの負荷流入により排出負荷を超える負荷量が基準地点に流れている物と考えられる。

